

# くすのき だより

心ではぐくむ健康と笑顔の樹

VOL.  
38

2023年  
6月発行



撮影場所／北海道富良野(写真／内山 弘道)

## 副院長就任のご挨拶

富山県済生会富山病院 副院長 久保 道也

富山県済生会富山病院 副院長 坂東 正

### トピックス

- 富山交通との健康増進にかかる連携協定について
- 看護職員のユニフォームを一新!
- 診療科紹介：脳神経外科
- 上肢用ロボット型運動訓練装置「ReoGo-J(レオゴーゼイ)」の導入
- 当院からのお知らせ
- 「外来患者待ち時間調査」結果について
- 患者さん満足度調査の結果
- 新任自己紹介
- 理念・基本方針・ご寄付のお礼



社会福祉法人 済生会支部  
富山県済生会

富山県済生会富山病院

<http://www.saiseikai-toyama.jp/> [hospital@saiseikai-toyama.jp](mailto:hospital@saiseikai-toyama.jp)

〒931-8533 富山市楠木33番地1  
TEL 076(437)1111 FAX 076(437)1122  
医療福祉支援センター  
TEL 076(437)1120 FAX 076(437)1131



## 副院長就任のご挨拶



副院長 久保 道也

この度、2023年4月1日付で副院長に就任いたしました脳神経外科の久保です。3年あまりにわたったコロナ禍もやっと収束の兆しが見えてまいりましたが、その一方で超高齢社会を迎えた医療の世界では、さまざまな変革が今後も待ち受けています。

当院は、富山医療圏の二次救急病院、富山市北部地域の基幹病院として、これからも質の高い医療を地域の皆様へ提供するとともに、健康寿命の延伸に向けても尽力してまいります。特に、得意とする多職種チーム医療の展開をさらに充実させることによって「安心して任せられる病院」と感じていただけるよう全力で取り組みたいと考えております。また、生き生きと元気に働く職員の姿や笑顔が、皆様に少しでも元気を届けられるよう、ムードの良い病院づくりを心がけたいと思っています。

臨床現場の診療を怠ることなく、副院長業務に精進する所存ですので、今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

## 副院長就任のご挨拶



副院長 坂東 正

この度、2023年4月1日に副院長を命ぜられ過日着任いたしました。私は2005年7月1日に外科部長として富山大学より赴任して以来、今日まで外科診療を中心に勤務させていただいております。主に外科手術を行うことにより、地域の方々に対してお役に立てることを第一に考え、日々業務を遂行してまいりました。外科の中でも肝臓、胆道、膵臓疾患に対する手術が専門であります。肝切除は約170件、胆道手術は約650件、膵臓手術は約120件施行させていただきました。その他には消化器内視鏡センター部長として、年間7000件前後の消化器内視鏡検査や治療に携わってきました。

今回副院長就任にあたり、これからは外科業務だけではなく病院全体としての仕事で地域の方々に貢献できるよう励みたいと考えております。専門以外の業務に関しましては、まだまだ不勉強不慣れな点が多々ありますが、精一杯やらせていただきますので何卒よろしくお願いいたします。

# 富山交通との健康増進にかかる 連携協定について

経営企画室

当院と県内タクシー事業者である富山交通株式会社は、令和5年2月13日に「健康増進にかかる連携協定」を締結いたしました。今後は、タクシー乗務員の定期健診や脳ドック・睡眠ドック等の各種専門ドックの利用による疾病の早期発見と治療の促進、生活困窮者や妊婦の通院・入院時における送迎協力、健康増進を目的としたイベントの共同開催や情報提供、マイカー通勤の多い当院職員を対象にした、運転のプロによる交通安全マナー研修の実施等で連携・協力してまいります。

また、4月には新入職員を対象に、社会人としての自覚・運転に対する責任等の安全運転意識を高めるため、富山交通の安全運転教育担当者様による安全運転研修を開催しました。職員からは、「運転のプロの講義は説得力があった」「人のケガや病気を治療している人間が事故を起こしてはならない」などの感想があり、交通安全への意識がより高まりました。今回の研修を通して、職員の安全運転への意識付けを継続していくことが必要だと感じました。今後も地域企業との健康増進にかかる連携協力を進め、相互の職場が健康で働き甲斐のある環境となるよう取り組んでまいります。



※連携協定調印式での様子



※安全運転研修での様子

## 看護職員のユニフォームを一新！ ～色分けで時間外労働を減らす～

看護部

今年の4月から看護職員のユニフォームを一新しました。看護職員のユニフォームを変更し、日勤者と夜勤者で色を分けることにより、時間外労働を減らすよう取り組みました。

ユニフォームの色分けによって、患者さんや職員が看護職員の勤務時間帯を簡単に判断できるため、勤務時間を過ぎた職員が新たな仕事を頼まれることが減少することで労働時間を軽減し、働きやすい環境となります。

夜勤の際は白色のユニフォーム、日中に働く男性看護師はオリーブ色、女性看護師は赤紫色のユニフォームを着用しています。ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。





VOL.

2

## 脳神経外科 ～脳神経外科ってどんなところ？～

脳神経外科は、脳を中心とした神経系の病気や外傷を主に診療します。具体的には、脳卒中を含めた脳血管障害、頭部外傷、脳腫瘍、水頭症、脳脊髄液漏出症などです。われわれの役割は、すでに発症してしまった脳卒中に対する急性期治療だけではなく、その発症予防や再発予防、急性期リハビリに至るまで多岐に渡ります。また、急性期治療を終えた患者さんが、引き続いて回復期リハビリ病院等へスムーズに引き継げるよう、連携システムも構築しています。



### 1 急性期脳梗塞に対する血栓溶解療法・機械的血栓回収術

重症脳梗塞治療の大きな変革は、2005年から血栓溶解薬t-PA(ティー・ピー・イー)が点滴で使えるようになったこと、2015年から脳の太い血管につまった血栓をカテーテルで回収する治療が認められたこと、の2つです。両方とも「魔法の治療」ではありません。いずれも「両刃の剣」であり、治療適応の有無を迅速に検討してから治療を行うため、両方合わせても脳梗塞患者全体の1割程度です。これら以外でも、点滴薬・内服薬・リハビリを各自に合わせて最適なものを選んでいきます。特にロボットリハビリを上肢・下肢の両方に取り入れて、次のリハビリ病院に連携している病院はきわめて稀です。

### 2 脳動脈瘤

脳動脈瘤は脳動脈の壁にできた風船のような膨らみで、日本人100人のうち約4人が持っています。破裂しても膜下出血を起こした場合には、救命のために脳動脈瘤治療が必要です。破裂していない場合にも、破裂しやすいものに対しては治療を行います。治療は、開頭して脳動脈瘤の入り口にクリップをかける手術と、カテーテルで脳動脈瘤内にプラチナ製の糸のようなコイルを収める脳血管内治療があります。

### 3 頸部内頸動脈狭窄症

大脳へ血流を送る頸動脈は指くらいの太さで、ここが狭くなって脳梗塞を起こすのがアテローム血栓性脳梗塞です。頸部を切開して頸動脈壁にたまったプラークを取り除く手術と、カテーテルでステントを入れて広げる頸動脈ステント留置術があります。

### 4 その他

動脈と静脈がつながって、動脈の高い血圧が直接静脈に加わって出血したり、うっ血したりする硬膜動静脈瘻のカテーテル治療も、当院ではたくさん行っています。



# 上肢用ロボット型運動訓練装置 「ReoGo-J(レオゴージェイ)」の導入

リハビリテーション科 作業療法士 護摩堂 秀之助

当院では脳卒中等の患者さんの麻痺側上肢の関節拘縮の予防、関節可動域改善及び運動学習を目的とした上肢用ロボット型運動訓練装置「ReoGo-J」を導入しました。ReoGo-Jはコンピュータ技術とロボット工学を応用した運動訓練装置で、患者さんのADL(日常生活活動)向上を目指します。プログラム上で運動のアシスト量や可動域を設定することで、患者さんに適した難易度の訓練を提供できます。また患者さんの能力に合わせて訓練量の設定ができ、繰り返しの運動学習ができます。さらに多彩なフィードバック機能により、訓練のモチベーション維持向上をサポートします。

今後も下肢麻痺のリハビリテーション支援ロボット「ウェルウォーク」と併せた“上肢+下肢のトータルリハビリテーション”の提供により、急性期～回復期リハビリテーションへのシームレスな移行の実現に努めていきます。



## 当院からのお知らせ

### ◆HCU開設のお知らせ

令和5年4月に「HCU(高度治療室)」を開設しました。高度な医療へのニーズに対応し、術後や重篤な状態にある患者さんに専門的な医療を提供いたします。

### ◆コロナワクチン接種「令和5年春開始接種」開始について

当院では、「富山市新型コロナワクチン接種 特設サイト」で事前予約された方を対象に、5月12日(金)より「令和5年春開始接種」を開始しております。詳細につきましては、当院ホームページをご覧ください。

▼当院HPはこちら



### ◆感染予防対策について

5月8日から新型コロナウイルス感染症の位置づけが「5類」となりましたが、重点医療機関として病床の確保は継続しています。また、病院では引き続き感染予防対策を継続しています。

院内では、マスクの着用、手指衛生、入館時検温をお願いしています。面会については、一部制限を設けて再開しています。

なお、富山県の新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては感染予防対策を変更させていただく場合があります。随時ホームページにてお知らせします。皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

# 令和4年度 「外来患者待ち時間調査」 結果について

当院は、「患者さん本位の心温まるすぐれた医療の提供」を使命とし、患者さんやご家族、地域住民の皆さまにご満足いただける医療を心がけ、日々の診療に努めております。特に患者さんの待ち時間に対するご不満は、病院の満足度低下に関わる大きな要因の一つであると考えております。

そこで当院では、令和4年11月28日に外来患者待ち時間調査を実施しました。今回は、電子カルテの受付時間などから外来各診療科での診察・各種検査・会計での待ち時間、また入院前説明を受けるまでの待ち時間と、健康診断における主要検査の待ち時間をそれぞれ調査いたしましたので、ご報告させていただきます。



## 1 外来診療科での診察

### 調査結果

医師別では平均待ち時間が1時間を超えていることもありましたが、予約のある場合、もっとも早く診察が開始できる診療科は眼科でした。逆に外科・内科・泌尿器科で待ち時間が長い傾向でした。予約のない場合、待ち時間が長いのは歯科口腔外科・内科・泌尿器科でした。

診療科によっては予約のない場合、予約のある場合より診察開始までに1時間以上時間がかかっていました。予約のある場合、多くの科は15分未満で診察が開始されていました。

待ち時間が長くなっている要因のひとつに、予約時間のかなり前に来院・受付している方の存在がありました。今回の調査では20%の方が予約時間の1時間以上前に受付をしていました。

### 対策

各科医師と情報を共有し、予約枠の見直しと適切な予約設定を行い待ち時間の短縮に努めます。交通の便の問題もありますが、なるべく予約時間に来院されますようご協力をお願いします。

## 2 中央処置室(採血や注射等)

### 調査結果

8:30～10:30までの2時間で、約60%の採血を行っていました。約半数は実施までに15分から30分の時間を要していました。また、3%の方で実施までに1時間以上の時間がかかっていました。受付開始時間に外来窓口(8:15)と採血室(8:30)で差があるため、15分の待ち時間が発生していました。

### 対策

待ち時間短縮を目標として、電子呼び出しシステムを導入しました。

## 3 生理機能検査

### 調査結果

予約のない検査(心電図、呼吸機能検査、CAVI)の平均待ち時間は4分でした。検査室の空きがない場合に長い待ち時間が発生していました。

予約のある検査では、循環器エコーの平均待ち時間は13分でした。予約時間より早く来室したことで同時刻に検査患者が重なり長い待ち時間となっていました。腹部エコーの平均待ち時間は13.4分でした。予約患者以外に健診の検査が入っている場合長い待ち時間となっていました。

### 対策

待ち時間の短縮に向けて、検査件数等の見直しを検討いたします。今後、健診部門の拡充により検診に関連する問題は改善が期待できます。

## 4 放射線検査

### 調査結果

CT、MRIでは、予約のある場合は CTで予約の2分前、MRIで予約の14分前に検査開始していました。予約のない場合は、CTで12分、MRIで46分の待ち時間でした。

予約のない外来の一般撮影(レントゲン)検査は、平均18分の待ち時間でした。検診の胸部撮影検査は、平均21分の待ち時間でした。通常は平均10分程度の待ち時間ですが、調査当日のように検査が集中すると、長い待ち時間となっていました。

### 対策

検診の胸部X線検査は、時間を分散させるなどの対策を、健康管理センターと協議し待ち時間の短縮に努めます。

## 5 リハビリテーション

### 調査結果

平均待ち時間は4分(前回調査時は12分)と大幅に短縮していました。外来リハビリ枠を朝・夕に定めて分散できているためと考えられました。

### 対策

予約のない方で長い待ち時間が予想される場合には、別の日に予約を取ることも提案させていただきます。

## 6 医事課(会計)

### 調査結果

平均待ち時間は4分で、前回の7分、前々回の8分に比べ短縮されていました。各科での診察終了後、直後から計算業務が行えるシステムの導入が今回の短縮に繋がったと考えられます。

### 対策

診察終了後の動線について(①FAXコーナー②診察終了ファイル受付③待ち受け画面表示④会計)の案内方法を見直し、更に待ち時間の短縮を目指します。

## 7 医療福祉支援センター(入院前説明)

### 調査結果

紹介受付の平均待ち時間は5分でした。しかし、調査日の紹介患者が少なかったため、多い日にはより長い待ち時間が発生することが想定されます。

入院説明の平均待ち時間は23分でした。特に11:30～14:00に入院説明が集中する傾向にあり、30分以上の待ち時間が発生していました。

### 対策

待ち時間短縮に向けた現在の取り組みを継続いたします。さらに、説明内容の短縮化を検討いたします。待ち時間に動画を用いて一部の説明を視聴してもらうことも検討中です。

## 8 健康診断

### 調査結果

胸部レントゲンの平均待ち時間は20分でした。受付時間帯別では、8:30～で4分、9:30～で21分、10:30～で26分と、早い時間帯ほど待ち時間が短い傾向でした。婦人科の平均待ち時間は20分で、予約のない場合の婦人科外来の平均待ち時間と同程度でした。

### 対策

健康管理センターと放射線技術科で協議し、胸部レントゲンの時間を分散させるなど、待ち時間短縮に取り組みます。



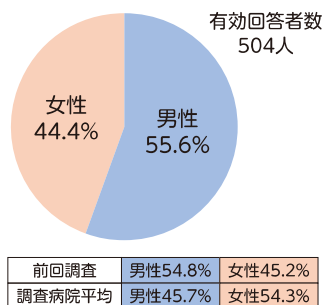
# 令和4年度 患者さん満足度調査の結果

## 外来部門

令和4年12月5日～12月7日実施 回答者数653人

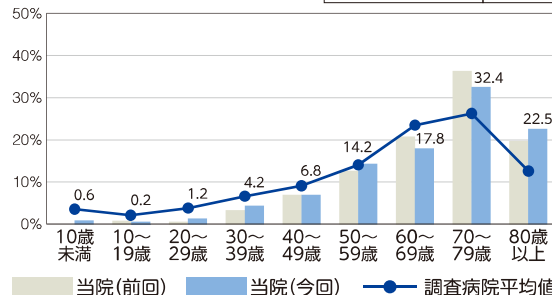
### 1 回答者の性別・年齢

回答いただいた方は男性が多く、調査病院(全国)平均と比べても多い結果でした。年齢は、全国平均に比べ70歳以上が男女とも多く、59歳までと80歳以上の回答者は男性よりも女性が上回っていました。平均年齢は前回調査を1.2歳下回っていましたが、全国に比べ7.3歳上回っており、富山県の高齢化を反映し、将来の日本を表していると考えられます。



平均年齢:67.1歳  
有効回答者数:498人

|           |       |
|-----------|-------|
| 前回調査との差   | -1.2歳 |
| 調査病院平均との差 | +7.3歳 |



### 2 診察待ち時間

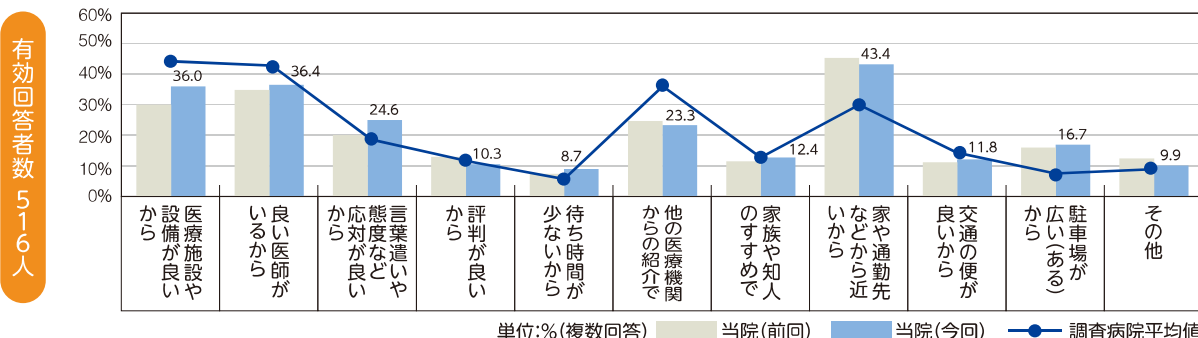
(受付から診察までの待ち時間)

平均待ち時間は、昨年度に比べ少し延長していました。特に予約ありの方の待ち時間が延長し、予約なしの方は短縮しておりました。すべての方が効率よく受診できるように、引き続きシステムを見直してゆきます。

|        | 当院(今回) | 当院(前回) |
|--------|--------|--------|
| 平均待ち時間 | 59.4分  | 58.5分  |
| 予約あり   | 58.3分  | 57.7分  |
| 予約なし   | 63.2分  | 64.6分  |

### 3 当院の選択理由

当院の選択理由のなかで全国平均に比べ多いのは、「家や通勤先などから近いから」や「駐車場が広いから」でした。近くの行きやすい病院を維持しつつ、医療内容でも評価される病院を目指します。



### 4 施設面満足度

施設面の満足度は、調査病院(全国)平均に比べても、前回に比べても、すべての項目で上回っていました。施設改修や清掃を重点的に実施したことを評価していただきました。しかし、「トイレや洗面所設備」、「売店、食堂、自動販売機」など相対的に低い項目もあり、これからも改善努力を継続いたします。

|                | (有効回答者数) | インデックス<br>(100点満点) |      |      | 調査病院<br>平均との差 | 前回調査<br>との差 |      |       |      |
|----------------|----------|--------------------|------|------|---------------|-------------|------|-------|------|
| 交通の便利さ         | (605人)   | 24.0               | 46.1 | 21.5 | 5.0           | 3.5         | 70.5 | +4.3  | +3.3 |
| 駐車場の広さや入りやすさ   | (624人)   | 23.4               | 54.2 | 16.5 | 4.6           | 1.3         | 73.4 | +16.6 | +6.4 |
| 建物の外観やつくり      | (609人)   | 18.1               | 57.5 | 23.6 | 0.7           | 0.2         | 73.2 | +7.5  | +2.3 |
| 総合待合室の設備や雰囲気   | (632人)   | 18.8               | 61.2 | 18.0 | 1.6           | 0.3         | 74.2 | +5.1  | +3.6 |
| 各科の待合室の設備や雰囲気  | (629人)   | 17.2               | 58.2 | 21.9 | 2.5           | 0.2         | 72.4 | +4.8  | +3.7 |
| トイレや洗面所設備      | (631人)   | 15.4               | 53.7 | 23.6 | 6.2           | 1.1         | 69.0 | +1.9  | +1.3 |
| 売店、食堂、自動販売機    | (571人)   | 11.2               | 45.9 | 36.3 | 5.3           | 1.4         | 65.1 | +2.6  | +1.3 |
| 案内看板や表示のわかりやすさ | (617人)   | 15.6               | 57.5 | 23.5 | 3.1           | 0.3         | 71.2 | +4.1  | +2.2 |
| 清潔感            | (630人)   | 19.7               | 60.6 | 17.8 | 1.4           | 0.5         | 74.4 | +4.5  | +1.8 |
| 施設面全般について      | (620人)   | 15.3               | 65.2 | 18.5 | 0.8           | 0.2         | 73.7 | +5.9  | +2.7 |

〈凡例〉 非常に満足 満足 どちらともいえない やや不満 不満 (%)  
\*インデックスは、非常に満足(100点)、満足(75点)、どちらともいえない(50点)、やや不満(25点)、不満(0点)の合計点



当院は、患者さんやご家族にとって満足度の高い医療サービスの提供を心がけています。このため、今後のサービス改善を図ることを目的に、定期的に患者さんの満足度調査をしております。

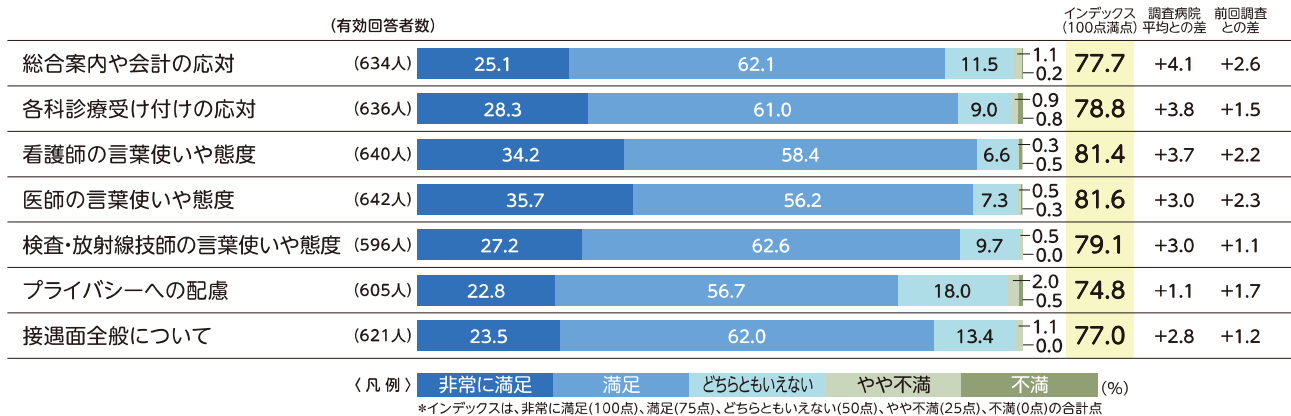
このたび、令和4年度の調査結果がまとまりましたので、報告させていただきます。

調査は、外来は3日間、入院は2ヶ月間、アンケート用紙を配布し、ご回答いただいた結果を外部機関が集計し、当院の前回調査結果および同内容のアンケートを実施した他の調査病院平均※との比較も検討いたしました。

※【他の調査病院平均】とは、当院が分析を依頼している調査研究機関がデータを有する病院【外来部門：全国の101病院（公立病院42病院、公的病院27病院、医療法人等32病院、）平均病床数405床、平均外来患者数789人/日、平均科目数20科、平均職員数644人】、【入院部門：全国の101病院（公立病院42病院、公的病院26病院、医療法人等32病院、）平均病床数417床、平均外来患者数784人/日、平均科目数20.5科、平均職員数672人】と比較しています。

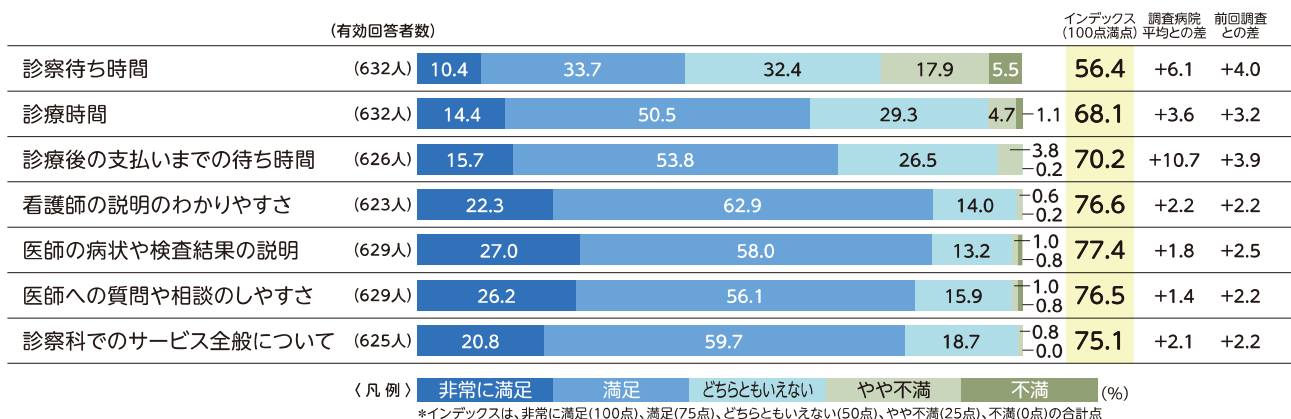
## 5 接遇面満足度

接遇面の満足度は、調査病院（全国）平均に比べても、前回に比べても、すべての項目で上回っていました。しかし、「プライバシーへの配慮」は相対的に低い評価でした。聴力の低下した高齢者の方をお呼びする際に、フルネームや大きな声での声掛けになることもありますが、引き続き改善策を検討いたします。



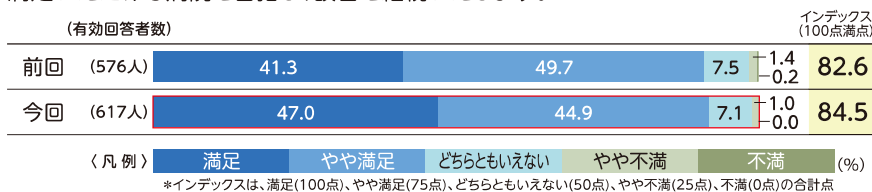
## 6 診察・サービス面満足度

診察・サービス面の満足度は、調査病院（全国）平均に比べても、前回に比べても、すべての項目で上回っていました。しかし、「医師の病状や検査結果の説明」や「医師への質問や相談のしやすさ」については、改善すべき点があるようです。



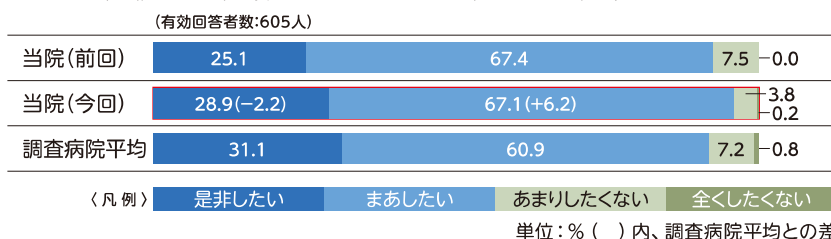
## 7 全体満足度

全体満足度は、前回よりも上昇していました。しかし、満足いただけている方は、まだ過半数に達しておらず、引き続き、多くの方に満足いただける病院を目指し、改善を継続いたします。



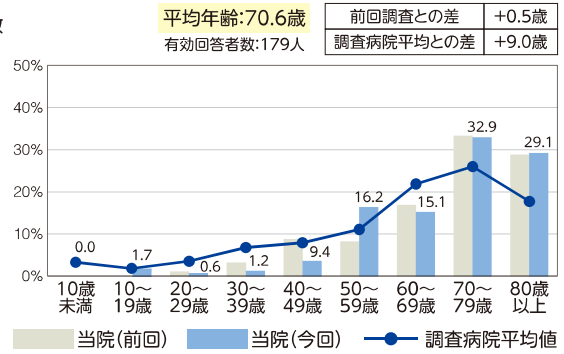
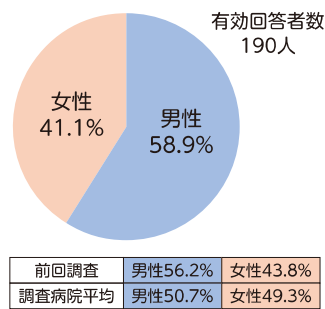
## 8 紹介・推薦意向

当院をほかの方に紹介・推薦したいとお考えの方は、前回調査より増加しました。しかし、まだ調査病院（全国）平均を下回っています。引き続き、施設・接遇・診療・サービスを向上させ、紹介・推薦したいと思われる病院を目指します。



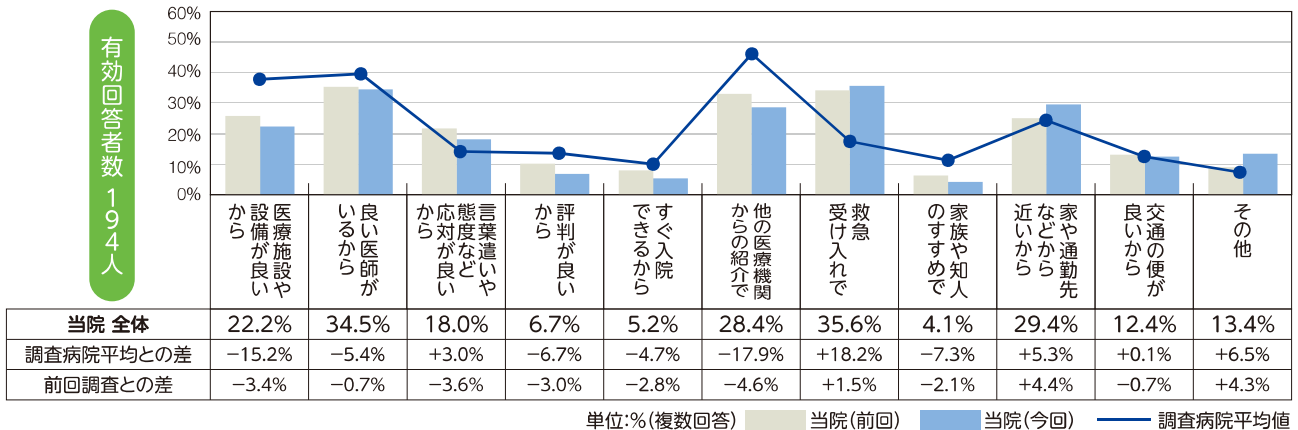
## 1 回答者の性別・年齢

ご回答いただいた方は、前回に比べても、調査病院(全国)平均に比べても男性が多く、平均年齢は前回と同じでしたが、全国平均に比べ9歳高齢で、富山県の高齢化を反映していました。



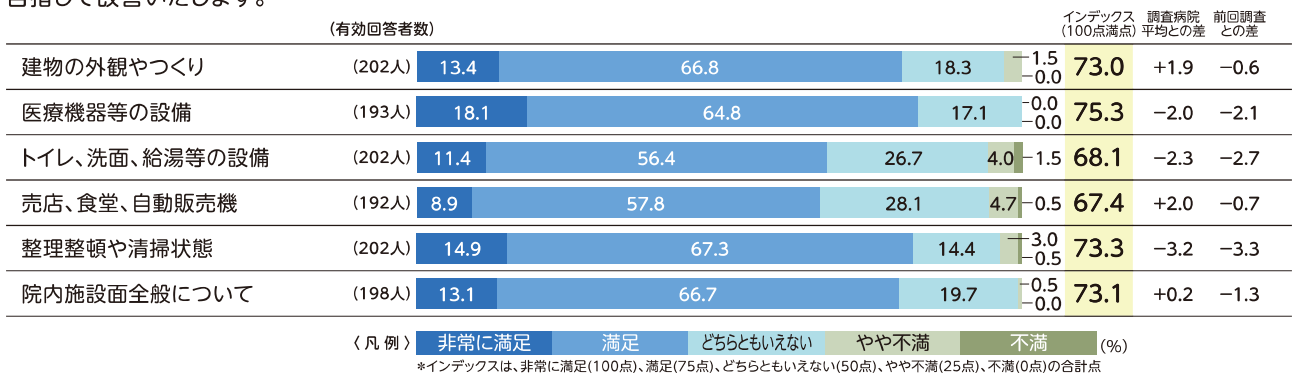
## 2 当院の選択理由

当院の選択理由で最も多かったのは、「救急受け入れ」で入院した方でした。救急を断らない病院方針が反映されているようです。しかし、医療面、評判での評価は十分ではなく、今後も改善を継続いたします。



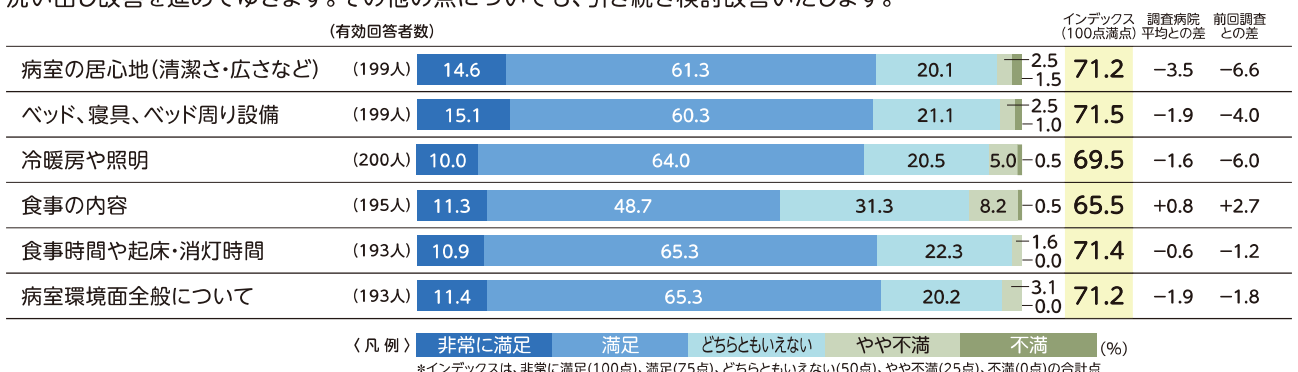
## 3 院内施設面満足度

院内施設面の満足度は、前回よりも下回っていました。調査病院(全国)平均と比べても「トイレ、洗面、給湯器の設備」や「整理整頓や清掃状態」については、改善努力が必要と思われます。老朽化施設という問題もありますが、引き続き満足できる施設を目指して改善いたします。



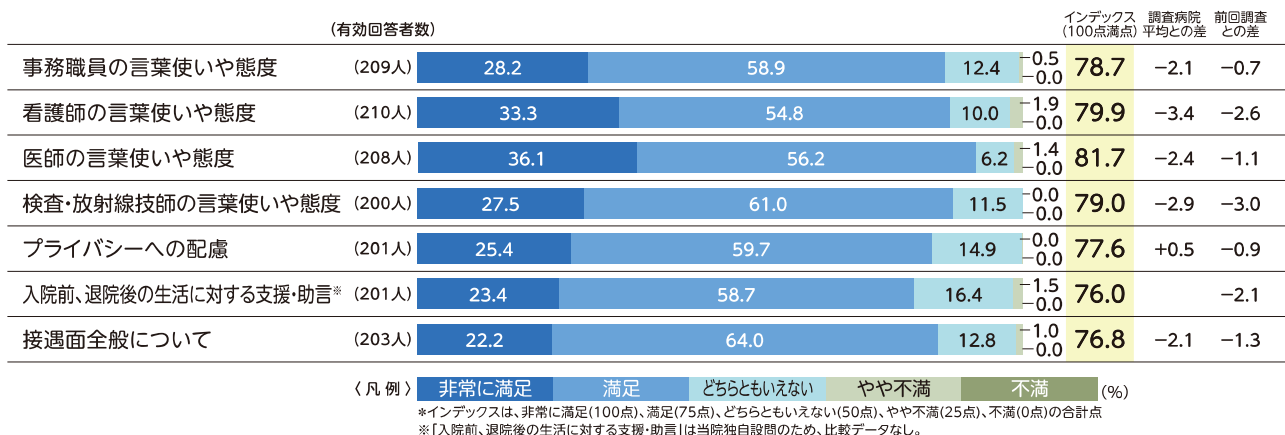
## 4 病室環境面満足度

病室環境面では、「食事の内容」を除きほとんどの項目で調査病院(全国)や前回にくらべ低下していました。特に「病室の居心地(清潔さ・広さなど)」、「冷暖房や照明」、「ベッド、寝具、ベッド周り設備」については、前回よりも低下が大きく、問題点を洗い出し改善を進めてゆきます。その他の点についても、引き続き検討改善いたします。



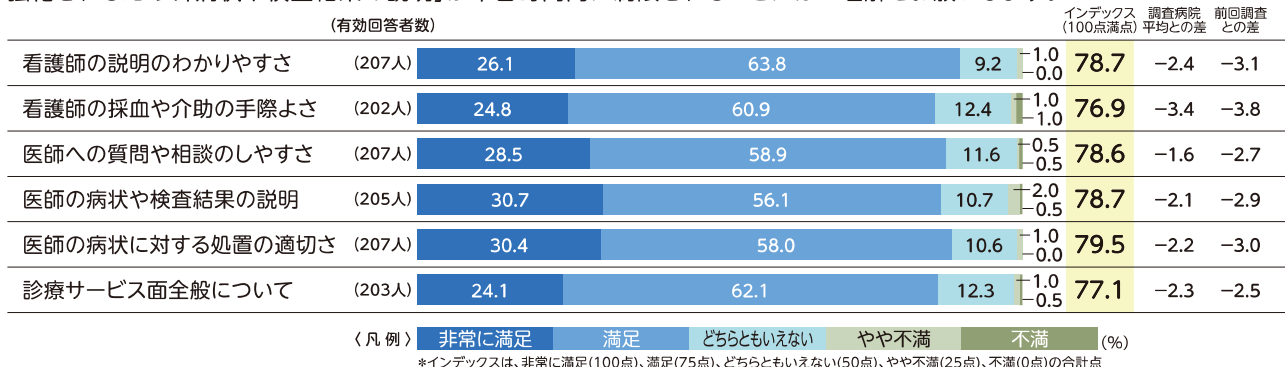
## 5 接遇面満足度

接遇面では、ほとんどの項目で調査病院(全国)や前回に比べ低下していました。特に、職員の「言葉遣いや態度」は調査病院(全国)平均に比べても低い評価でした。救急・重症対応などで説明時間の不足や職員のストレス過多も原因の一つで、働き方改革を進めていきます。また、院内で行っている職員の接遇研修等で、継続して「言葉遣いや態度」の向上を目指します。



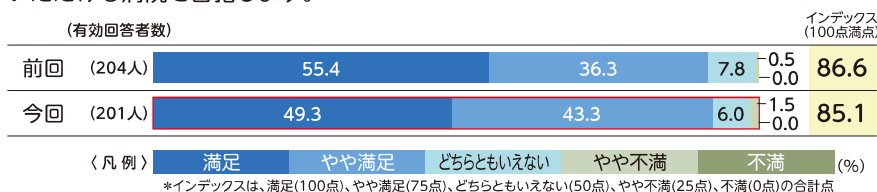
## 6 診療面満足度

診療面の満足度は、すべての項目で調査病院(全国)や前回に比べ低下していました。診療面で満足できる評価が得られるように、研修等を通じて引き続き病棟スタッフの教育を継続します。医療従事者の働き方改革のため、時間外での勤務制限が強化されるため、「病状や検査結果の説明」が平日時間内に制限されることにはご理解をお願いします。



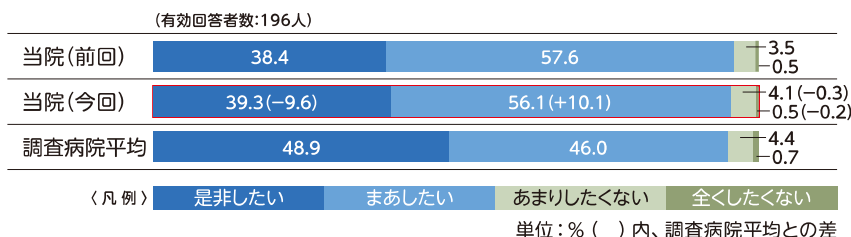
## 7 全体満足度

全体満足度は前回に比べ、「満足」の方が減少していました。今後は前述した問題点の改善に取り組み、多くの方に満足していただける病院を目指します。



## 8 紹介・推薦意向

当院の紹介・推薦を是非したい方は、前回よりも増加しましたが、調査病院(全国)平均よりも低下していました。問題点を職員で共有し、多くの人に「是非紹介・推薦したい」病院となるよう、引き続き努力いたします。



### おわりに

コロナ禍にもかかわらず、多くの皆様に外来、入院満足度調査にご協力いただきありがとうございました。今回の調査で明らかになった、調査病院(全国)や前回調査に比べ済生会富山病院の評価の低かった項目の改善を続け、ご評価いただいた項目も引き続き改良し、多くの方々にますます満足され推薦される病院を目指し、努力いたします。引き続き、調査等にご協力をお願いいたします。



# 済生会富山病院では 無料・低額診療事業を実施しています



無料・低額診療事業とは、医療費を

減額

免除

できる  
制度です。



生計困難な方が経済的理由により、必要な医療を受ける機会を制限されることのないよう、  
無料・低額な料金で治療を受けていただく制度です。

例えば

このような時にご相談ください

- 病気や障害、失業などで収入がなくなり、医療費の支払いが困難な方
- 「医療費が払えない」と、治療を受けずに悩んでいる方

## 利用方法

利用にあたっては、一定の条件がありますので、まずは患者相談窓口へご相談ください。お問い合わせはお電話でもお受けいたします。

## 相談窓口

患者相談窓口  
(1階エントラホール3番)  
TEL 076-437-1111(代)  
月～金 8:30～17:30

毎月第2火曜日に  
無料・低額診療  
相談会を実施しています

場所:患者相談窓口 時間:9:00～12:00

相談は  
無料です



社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部 富山県済生会  
富山県済生会富山病院

## ミッション(使命)

患者さん本位の心温まるすぐれた医療の  
提供

## ビジョン(将来像)

- ・ 地域住民の健康寿命の延伸
- ・ 健康障害を抱える人々の生活の質の向上
- ・ 働きがいのある職場環境の形成

## バリュー(価値観)

- ・ 医療の質向上をめざすこと
- ・ 地域に貢献すること
- ・ 自己研鑽と育成に努めること
- ・ 健全経営をめざすこと

## 患者さんの権利と責務

私たちは、医療行為が患者さんと医療者との信頼関係の上に成り立つものであり、医療は患者さん中心であることを深く認識して、ここに「患者さんの権利と責務」を定めます。

## 患者さんの権利

- ・ 個人としてその人格を尊重される権利
- ・ 質の高い医療を公平に受ける権利
- ・ 十分な情報を知り、説明を受ける権利
- ・ 選択の自由と自己決定する権利
- ・ プライバシーが守られる権利

## 患者さんの責務

- ・ 自身の情報を正しく提供する責務
- ・ 診療行為に協力する責務
- ・ 療養に専念する責務
- ・ マナーや規則を守る責務
- ・ 医療費を支払う責務

## 行動指針

どのように考え、どのように  
行動するかの基本となる方針

- 私たちは 患者さんの立場にたって行動します
- 私たちは 患者さんの権利を尊重します
- 私たちは 信頼される医療を提供します
- 私たちは 生活困窮者を支援します
- 私たちは 働きやすさとやりがいのある職場をめざします
- 私たちは 同心協力の心を大切にします
- 私たちは 法令・規則を遵守します
- 私たちは 自己研鑽に努めます
- 私たちは 次代を担う医療人を育てます
- 私たちは 安定した事業の運営をめざします

済生会富山病院報  
くすのきだより

発行者

富山県済生会富山病院  
院長 堀江 幸男

## 編集委員会

久保道也 黒原直美 山崎真美子  
西川知良 上田周平 宮坂歩夢  
作田基太郎 前田伸明 姉崎正起子  
吉村英士 北森大地 高柳敦子  
本谷あてね 柴原葉奈

令和4年度後期  
ご寄付のお礼

匿名の方からご寄付いただきました。  
貴重なご厚志ありがとうございました。